

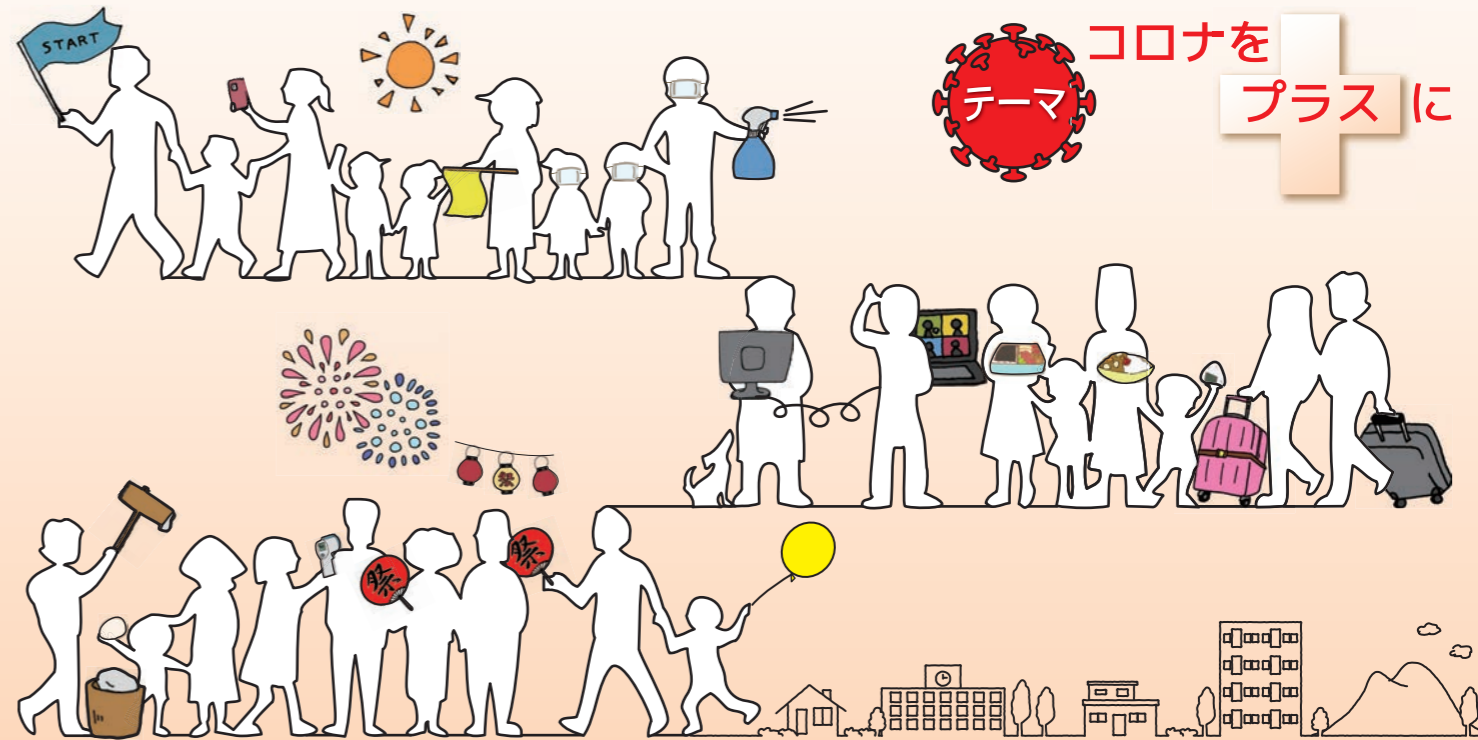
# こみねつと

## 高松

### たかまつ Vol.12

令和5年4月1日発行

地域コミュニティ協議会では、地域の人たちが笑顔で元気に、そして安心して暮らせるよう、様々な団体が協力をしながら、防災や防犯、また環境美化や見守りなどの活動を行っています。  
 コロナ禍において、多くの地域活動が中止や縮小となり、地域の居場所や、つながることの大切さが再認識されています。今こそ、逆境に負けない地域のつながりが求められています！



### 地域に吹き始めた新しい風

新型コロナウイルス感染症が広がり始めて3年あまり。感染が拡大した後、中止になっていた夏祭りや文化祭などの地域のイベントが、徐々に再開されています。イベント会場では、子どもたちの歓声や住民の皆さんの熱気があふれ、少しずつ本来の地域の姿に戻りつつあるようです。

地域コミュニティ協議会では、コロナで足踏みを余儀なくされた期間を、「立ち止まってしっかり考える時間」と前向きにとらえ、福祉や防災など地域の安心を守る活動はしっかりと継続するとともに、コロナ禍でも住民の交流の場をもてるように、みんなで知恵を出し合いながら、新しい取り組みにもチャレンジしています。

今回は、そのチャレンジの一部を紹介していますが、皆さんの地域でも、元気を吹き込む新しい風が吹き始めているはずです。  
 ぜひ、地域のイベントに参加してみてください。



(一社) 高松市コミュニティ連合会  
 会長 角田 朝則

## 受賞おめでとうございます

### 令和4年度 高松市長感謝状 及び 一般社団法人高松市コミュニティ連合会表彰状贈呈式

多年にわたり地域活動に携わり、その功績が顕著な86名の方々に  
 対して、令和5年2月16日(木)に  
 高松市長感謝状等が贈呈されました。  
 受賞されました皆様におかれま  
 しては、誠におめでとうございます。  
 今後とも、地域のリーダーとして更  
 なるご活躍を祈念申し上げます。



### 令和4年度 第9回全国公民館報コンクール

優れた公民館広報紙を表彰する(公社)全国公民館連合会主催の  
 コンクールにおいて入賞しました。

**奨励賞**  
 川岡コミュニティセンター『コミュニティだよりかわおか』

### 令和4年度 自治会加入促進作品 入賞者

小学生から高齢の方まで、地域への思いが  
 込められた作品が多く寄せられました。  
 ご応募ありがとうございました。

#### ポスターの部

- 最優秀賞** 川崎 佑美 (川岡校区)  
**優秀賞** 河野 壯太 (木太地区)  
 松本 明峰 (木太地区)  
 谷 理音 (植田校区)

#### 標語の部

- 最優秀賞** 原田 ゆあな (林地区)  
**優秀賞** とらこ※ (栗林校区)  
 つづき いっせい (栗林校区)  
 まいまい※ (太田南地区)  
 片岡 佳織 (円座校区)  
 湯浅 悠生 (香南地区)  
 (敬称略、※はペンネーム)

## 今こそ地域のつながりを

### ～自治会に入ろう～

ご近所同士のつながりをつくるには、  
 自治会はとても大切な存在です。  
 「いざ」「もしも」のときのために、  
 コロナ禍で薄れつつある顔の見える関係  
 づくりや、支え合いの輪を広げましょう。

#### 情報・交流

色んな人と  
 顔見知りになれたね



広報紙や回覧板  
 お祭りやイベント  
 困ったときの話し合い

明るいと  
 安心にゃ～



#### 安全・安心

子どもや高齢者の見守り活動  
 防犯灯や防犯カメラの管理  
 防犯パトロール

#### 美化



一斉清掃  
 ごみステーションの管理

#### 防災



避難訓練  
 支援物資の備蓄  
 災害時の情報収集

もしものために  
 備えよう！

きれいだと  
 気持ちいいね

## 学びの場・交流の場 コミュニティセンター

コミュニティセンター、通称「コミセン」では、様々な講座や同好会活動などが行われており、地域の誰もが気軽に利用できるスポットです。さあ、近くのコミセンに出かけてみませんか？  
 ※市役所の総合センター・支所・出張所を併設している施設もあります。



コミセン一覧

- ▶開館時間 ・月～土曜…9：00～21：00（土曜は17時以降の利用予約がない場合は閉館になります）  
 ・日曜…9：00～17：00
- ▶休館日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日  
 ・8月13日～15日、12月29日～1月3日  
 （イベント等で休館日に臨時開館したときは、翌日が臨時休館となる場合があります）



前より集まれなくなって  
地域の元気もなくなってきたの？  
いやいやコロナに負けるもんか！  
もっと地域を明るく元気にしたい！

会議はリモートでもできる  
情報はネット配信で共有できる  
前よりずっとデジタルが身近になった  
コロナをプラスにすれば地域はもっとつながれる！



## 松島 「歩いてマイマイまつしま」の 防犯活動

「歩いてマイマイ」は、香川大学大久保准教授が開発した防犯アプリです。松島地区で使ってみたくて申し出ると快諾してくれました。

香川大学防犯パトロール隊による事前講習で「安全」と「危険」な場所の見分け方を学習した後、大学生、小学生と保護者のグループでパトロールを開始。両側の塀が高い道は「危険」、コンビニは「安心」とスマホで撮影、登録していきます。

参加した子どもたちから「ここは大丈夫？」「写真を撮りたい！」という声次々あがり、賑やかな防犯パトロールとなりました。普段のパトロールでは見落としがちな場所を、学生や子どもの視点で見ることが新鮮でした。

今回登録した場所を、青パトや子ども会、PTAや学校と共有し、地域の安全・安心への意識をさらに高めていきたいと思えます。



## 弦打 コミセンキラキラ大作戦

3年前、コロナ禍の地域を元気にしたい、明るくしたいとの思いから、コミュニティセンターをイルミネーションでライトアップした「第1回つるうち冬のまつり」を開催しました。

好評につき、その後毎年開催し、期間中は地域内外からたくさんの方がコミュニティセンターを訪れ、キラキラにライトアップされた夢の世界を楽しんでいました。制作に関わったのはすべて地域の人々です。経験がないなか、一から創りあげた手作りのイルミネーションも、年々バージョンアップして3年目を迎えました。

令和4年度のテーマは「結(むすび)」。これまでの集大成でもあり、地域に住む人々が綺麗な輪でつながっていきけるよう私たち作り手の願いを込めて、イルミネーションに一体感を出しました。

見てくださった皆さんに感謝の気持ちを込めて、今までもそしてこれからも弦打校区が笑顔あふれる元気な地域になるよう私たちは前に進んでいきます。



## 亀阜 校区みんなで150周年のお祝い

令和4年、亀阜小学校は創立150周年を迎えました。記念事業の一つとして、令和4年11月に小学校体育館で「亀阜小学校創立150周年記念式典」が開催されました。本来であれば、小学校在校生や保護者、卒業生、地域の方々にもご出席頂き、盛大に開催したいところでしたが、感染対策のため、体育館には6年生の児童とご来賓の方々のみが入場しました。しかし、この亀阜小学校の大きな節目を少しでも多くの方々と一緒にお祝いするためYouTubeのライブ配信を行い、5年生以下は教室で、またコミュニティセンターにはサテライト会場を設け、地域の方々も一緒に式典に参加することができました。大きなスクリーンには小学校の式典の様子が映し出され、150年の歴史や伝統を改めて感じる感動的な時間となりました。



## 浅野 子どもたちと コラボしたまちづくり

令和2年の春、小学校の校長先生から「コロナで何も行事ができない。何か子どもたちが元気になるメッセージを送ってほしい」と、コミュニティ協議会にお話がありました。

そこで、第一弾として「コロナにまけない体もつよいぞあさのっこ」という標語を作成し、地域の掲示板や小学校・幼稚園・保育所等に掲示しました。

翌年は、小学生から標語を募集し、応募の52名の中から、最優秀賞の「密避けて仲間と絆深めよう」を、昨年と同様に地域内に掲示しました。

続く令和4年は、「ふるさとあさの」をテーマに、小学4～6年生に標語を募集したところ、155点の応募があり、最優秀賞と優秀賞の4点を1年かけて順に掲示しました。その中には地域に伝わる「ひょうげまつり」を題材にしたものもあり、地域と子どもたちがつながっていることを実感する機会になりました。

さて、令和5年はどんな標語が集まるのでしょうか。



## 香西 認知症SOSやさしい 声かけ模擬訓練

令和3年度、全国で認知症による捜索依頼行方不明者は17,636人。そのうち発見時死亡が確認された方や、交通事故に遭われた方もおり、未だ所在がわからない方も多くおられます。

香西長寿声かけ隊は、香西地区が「認知症になっても今以上に安心して暮らせる町」を目指し、平成26年に活動を開始しました。認知症ネットワーク構築の一環として、認知症の方が道に迷っている時、地域で正しく対応するために毎年自治会の協力を得て「認知症SOSやさしい声かけ模擬訓練」を実施しています。

訓練の内容は、認知症役が行方不明→警察に捜索依頼→模擬訓練メール配信→地域の方が徘徊役を発見・声かけ→警察に連絡・警察官到着まで保護の手順で実施しています。

道に迷っている認知症の方を見かけたら、やさしく声をかけてください。



## 太田南 秋まつりの「QRコードラリー」

令和4年度は、高松市のデジタルデバインド(情報格差)対策事業を活用して、地域のデジタル化推進に取り組みました。10月30日(日)に開催した「太田南秋まつり2022」では「ゴンタくんのお話QRコードラリー(デジタル版スタンプラリー)」を実施。会場内のQRコードを探してスマホで読み取ると、タヌキのゴンタの昔話とキーワードの一部が表示され、すべてのポイントを回ると、お話もキーワードも完成するというもの。参加賞のゴンタくんシールも大人気でした。

おまつりの前には「スマホ教室初歩の初歩」を開催し、『広報高松』や地域の広報紙に掲載されたQRコードを読み込んで詳しい情報を得る練習の場を設け、幅広い年代にラリーに参加してもらう工夫をしました。遊びを通じてデジタルの良さを身近に感じてもらうことができたので、今後も楽しんでデバインド(格差)を解消できる取り組みにチャレンジしていきたいと思えます。

